

## 令和5年度 ミニトマト（アンジェレ）技術情報 No.5

大船渡農業改良普及センター  
電話:0192-27-9918 FAX:0192-27-9936

- ・夜間温度 12℃以上を目標に保温しましょう。
- ・主枝摘心や摘葉を適期に実施し、果実肥大や着色を促進しましょう。
- ・葉かび病や灰色かび病の防除を継続しましょう。

## 1 栽培管理

## (1) 温度管理

気温が低くなると生育が停滞し、果実の肥大・着色が悪化します。

- ・ **入り口やサイドにビニールを設置**し、夜間温度 12℃以上を目安に、**保温**しましょう。

表1 温度管理の目標

	目標温度	備考
日中	25～28℃	35℃以上で落花の増加
夜間	12℃	8℃以下で着果不良

## (2) トマトトーンによるホルモン処理

低温や日照不足によって、果実が着きにくくなります。

- ・ トマトトーンは、着果促進にすぐれた効果があり、実が着きにくくなる**低温時や日照不足の際の着果を安定**させます。
- ・ **果実の肥大および熟期を促進する効果**もありますので、果実品質の向上と収量増加が期待できます。
- ・ 使用する場合は、ラベルの表示事項を必ず確認し、農薬使用基準を遵守してください。

表2 トマトトーンの農薬登録内容

作物名	使用方法	希釈倍数		使用時期	使用目的	本剤の使用回数
ミニトマト	散布	低温時 (20℃以下)	50倍	開花前3日～開花後3日位	着果促進、果実の肥大促進、熟期の促進	1花につき1回
		高温時 (20℃以上)	100倍			

※令和5年8月31日の農薬登録情報に基づき作成しています。

## (3) 裂果対策

低温期は、高い湿度と過漕水により、裂果が発生しやすくなります。

- ・ **適度な換気**や**下段の摘葉**により通気を良くし、日の出や天候を考慮した**漕水開始時刻(日の出2時間後)**や**漕水量の調節**により、裂果の発生を抑制しましょう。

#### (4) 主枝摘心

主枝摘心は果実肥大を促進する効果があります。

- ・ 収穫打ち切り予定日から**2か月前**（最終花房の開花期）を目安に、**開花直前の花房の上の葉2枚を残し、一斉に主枝摘心**しましょう。

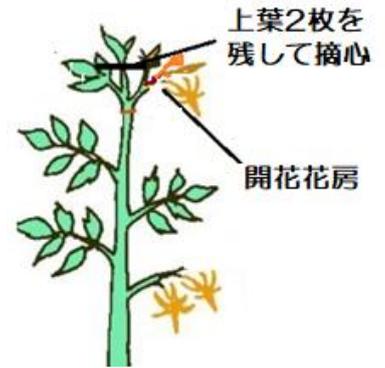


図1 主枝摘心の方法

#### (5) 摘葉

果房付近の過繁茂（果実に光が当たらない）により、着色が遅れます。

- ・ **低温期(9月下旬以降)**は、**適度に摘葉して日当たりを良くし、着色を促進**させましょう。

#### (6) 裂果対策

低温期は、高い湿度と過灌水により、裂果が発生しやすくなります。

- ・ **適度な換気**や**下段の摘葉**により通気を良くし、日の出や天候を考慮した**灌水開始時刻(日の出2時間後)**や**灌水量の調節**により、裂果の発生を抑制しましょう。

#### (7) 病害虫防除

- ・ **葉かび病**や**灰色かび病**の重点防除時期です。防除暦を参考に防除を継続しましょう。

#### (8) 追肥

栽培後半の過剰な追肥は、果実の品質低下、土壌の塩類集積の原因になります。

- ・ **追肥は、収穫打ち切り予定日の2か月前を目安に、終了**してください。

## 2 台風等による大雨や強風対策

台風等による大雨や強風が多い時期になります。ハウス等の圃場周囲の明渠や排水溝の補修を行うなど、排水対策を再度確認しましょう。また、ハウスビニールの破れ、ハウスバンドの緩みの確認などを行い、必要な補修・補強を行いましょう。

★**いわてアグリベンチャーネット** URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★**9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間**

農業機械の基本操作を守り、無理のないスケジュールで作業を行いましょう。

令和5年度岩手県農作業安全スローガン「農作業 慣れと油断が 事故のもと」